

**Pioneer**

DJ コントローラー

**DDJ-WEGO**

**DDJ-WeGO**

**<http://pioneerdj.com/support/>**

上記の弊社ホームページでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

**取扱説明書**

---

---

# もくじ

## 本書の見かた

本書では、コンピュータ画面に表示される画面名、メニュー名、および製品本体ボタン名および端子名などを、[ ] で囲んで記載しています。  
(例：[RECORD] パネル，[CONFIG] メニュー，[CUE] ボタン，[VINYL] モード，[AUX IN] 端子)

## 01 はじめに

本機の特長 .....	3
付属品を確認する .....	3

## 02 準備する

ソフトウェアをインストールする .....	4
-----------------------	---

## 03 接続する

入力 / 出力端子に接続する .....	7
----------------------	---

## 04 各部の名前とはたらき

1 ブラウザ .....	8
2 デッキ .....	9
3 ミキサー .....	9

## 05 操作する (基本編)

システムを起動する .....	10
トラックをロードして再生する (⇒A) .....	11
ミキサー機能を使う (⇒B) .....	11
音質を調整する .....	11
ヘッドホンで音声をモニターする (⇒C) .....	11
ミックスする (⇒B、D) .....	11
マイクの音声を入力する .....	11
システムを終了する .....	11

## 06 操作する (本機の特徴)

JOG FX モードの種類 (⇒E) .....	12
ジョグダイヤルのイルミネーション色を変更する (⇒F) .....	12
スキンの色を変える .....	13

## 07 操作する (応用編)

CUE を使う (⇒G) .....	14
LOOP を使う (⇒H) .....	14
HOT CUE を使う (⇒I) .....	14
SAMPLER を使う (⇒I) .....	14
4 つのデッキを操作する (⇒J) .....	15

## 08 操作する (その他の機能)

ファイルを解析する .....	16
ビートグリッドを編集する .....	16
ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔を調整する .....	17
ジョグダイヤルのタッチセンサーの感度を調整する .....	17
ムードライティングモード .....	17

## 09 その他

故障かな? と思ったら .....	18
他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する .....	19
ドライバソフトウェアについて .....	19
保証とアフターサービス .....	19
商標および登録商標について .....	20
著作権についてのご注意 .....	20

# はじめに

## 本機の特長

本機は、ダイナミックな音と多彩な光の変化で DJ プレイを演出することができるコンパクトサイズの DJ コントローラーです。ダイナミックに音を変化させることができる「JOG FX」機能と、マルチカラーの LED を使って光の色を多彩に変化させることができる「PULSE CONTROL」機能を備えています。本体色は 5 色のカラーバリエーションを用意し個性やインテリアに合ったカラーを選べます。また、LED の点灯色をカスタマイズして個性を表現できます。使う人それぞれの好みやスタイルに合った DJ ライフを楽しめる DJ コントローラーです。

## JOG FX

複数のエフェクトを同時にジョグダイヤルでコントロールできる JOG FX 機能を搭載しています。ジョグダイヤルを回すシンプルな動作で複数のエフェクトのパラメーターを同時にコントロールでき、多彩な音の変化を楽しめます。また FX Pulse と組み合わせることで、マルチカラーの光を使った多彩なアニメーションで DJ プレイを演出します。

## PULSE CONTROL

マルチカラーの LED をジョグダイヤルに搭載しました。DJ プレイを多彩な光の色の変化とアニメーションで演出します。

- PULSE CONTROL の主なアニメーション
  - ① Mix Pulse  
2 つのトラックのビートのずれを光の強弱で表示します。ビートが完全に一致するとジョグダイヤルの光が強くなり、ビートがずれるとジョグダイヤルの光が弱くなります。ビートのずれを目で確認しながら簡単にビートやテンポを合わせることができます。
  - ② Launch Pulse  
トラックをロードするとジョグダイヤルに向かって赤い光が流れ、トラックをロードしたことが一目で分かります。
  - ③ FX Pulse  
操作したエフェクトによってジョグダイヤルの光がさまざまに動き、音の変化だけでなく光の動きでも DJ プレイを演出します。

## カラーバリエーションとカスタマイズ

本体に搭載されたマルチカラーの LED の点灯色をカスタマイズしたり、バンドルソフトウェア「Virtual DJ Limited Edition」のインターフェースをお好きな色にカスタマイズしたりすることができます。そのときの気分や様々なシチュエーションに合わせてお好みの色を楽しむことができます。

## デザイン

インテリアに映えるソリッドカラーと形状、持ち運びを考慮したコンパクトなサイズ、その両方を実現するデザインを採用しました。丸みを帯びた優しいフォルムながらもソリッドな印象を与える 5 色のカラーバリエーションを持つボトムパネルに加え、マルチカラーの光のアニメーションを際立たせる新しいジョグダイヤルを採用し、DJ プレイが楽しくなるようなデザインを採用しました。また、入出力端子をサイドパネルに配置することでノート PC との距離を近づけることができ、小さなスペースにも設置できます。さらに、持ち運んで DJ プレイすることを考慮してコンパクトなサイズを実現しました。

## VIRTUAL DJ LE

パイオニアオリジナルデザインのインターフェースを搭載した DJ ソフトウェア「Virtual DJ Limited Edition」を同梱しています。同ソフトウェアはループやエフェクト、サンプリング、4 チャンネルミックス、ビデオ機能などを搭載しており多彩な DJ プレイを楽しむことがで

きます。またインターフェースの色を変更できるので、お客様の好みや様々なシチュエーションに合わせた DJ プレイが可能です。

## 様々な DJ ソフトウェアに対応

MIDI に対応しているため、さまざまな DJ ソフトウェアでも 4 デッキコントロールやサンプリングなどの操作を行うことができます。最新のソフトウェアの対応状況については弊社サポートページをご覧ください。<http://pioneerdj.com/support/>

## 付属品を確認する

- VIRTUAL DJ LE ソフトウェア / ドライブソフトウェア / 取扱説明書 CD-ROM
- USB ケーブル
- ご使用前に (重要)
- クイックスタートガイド
- サービス窓口のご案内
- 保証書

# 準備する

## ソフトウェアをインストールする

### ドライバソフトウェアについて (Windows)

本ドライバソフトウェアは、コンピュータからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバです。

- Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。

#### 動作環境

対応 OS		
Windows® 7 Home Premium/ Professional/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ <sup>1)</sup>
Windows Vista® Home Basic/ Home Premium/Business/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ <sup>1)</sup>
Windows® XP Home Edition/ Professional (SP2 以降)	32 ビット版	○

<sup>1)</sup> 64 ビット版 Windows をお使いのときは、ドライバソフトウェアは 32 ビットアプリケーションだけにお使いいただけます。

#### ❖ ドライバソフトウェアをインストールする前に

- はじめに「19 ページの「ソフトウェア使用許諾契約書」」をよくお読みください。
- 本機の電源スイッチを切り、本機とコンピュータを接続している USB ケーブルを取り外してください。
- コンピュータ上で他に作業中のプログラムがあればすべて終了させてください。
- ドライバソフトウェアをインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログオンしてからインストールしてください。
- ドライバソフトウェアをコンピュータにインストールしないで本機をコンピュータに接続すると、お客様の環境によってはコンピュータにエラーが発生することがあります。
- ドライバソフトウェアのインストールを途中で中止したときは、はじめからインストールをやり直してください。

#### ❖ ドライバソフトウェアをインストールする

##### 1 コンピュータの電源をオンにする

##### 2 付属の CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入する

##### 3 CD-ROM のメニューが表示されたら、[ドライバソフトウェア (Pioneer\_DDJ\_WeGO\_Driver\_X.XXX) をインストールする] を選んで [開始] をクリックする

##### 4 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [Windows セキュリティ] 画面が表示されることがありますが、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続行してください。

- Windows XP にインストールしているときインストールの途中で [ハードウェアのインストール] 画面が表示されることがありますが、[続行] をクリックしてインストールを続行してください。
- インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。

#### ❖ 本機とコンピュータを接続する

##### 1 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する

接続の仕方については、7 ページの「入力 / 出力端子に接続する」をご覧ください。

##### 2 本機の [ON/OFF] スイッチを [ON] の位置にスライドさせる

本機の電源をオンにします。

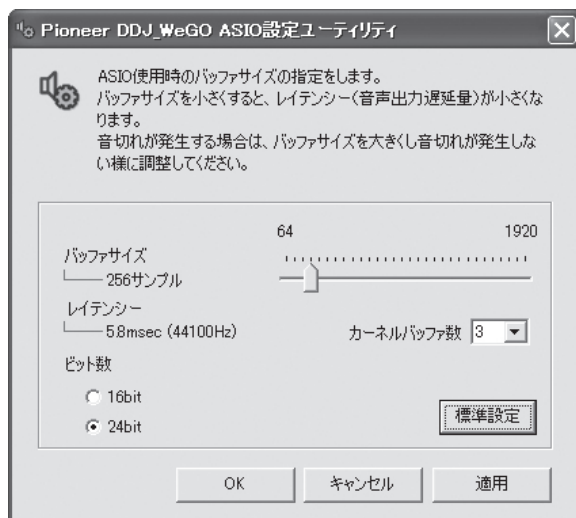
- 本機をはじめてコンピュータに接続したとき、またはコンピュータの USB 端子をつなぎ変えたときに [デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。] メッセージが表示されることがあります。[デバイスを使用する準備ができました。] メッセージが表示されるまでそのままお待ちください。

#### ❖ バッファサイズを調整する

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。

- 本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション (DJ ソフトウェアなど) が起動しているときは、そのアプリケーションを終了させてからバッファサイズを調整してください。

#### Windows の [スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [DDJ\_WeGO] > [DDJ\_WeGO ASIO 設定ユーティリティ] をクリックする



- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。
- カーネルバッファ数を大きくすると、音とぎれが生じにくくなりますが、レイテンシーによるタイムラグが増大します。
- バッファサイズおよびカーネルバッファの調整は、以下の手順を参考に操作してください。

#### 初期設定状態で音とぎれが発生していないとき

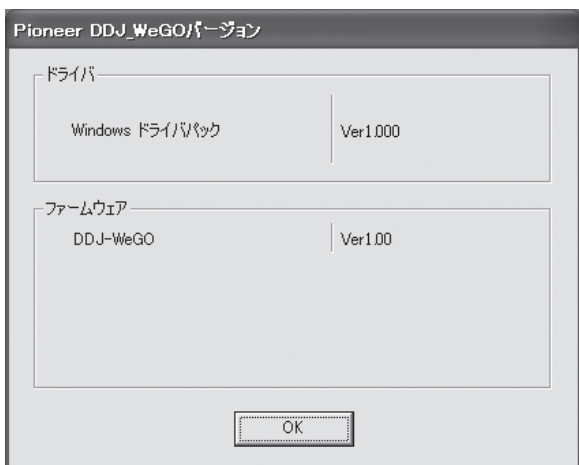
- ① バッファサイズを徐々に小さくして、音とぎれが発生しない最小のバッファサイズに設定する
  - ② カーネルバッファ数を [2] に設定して、音とぎれが発生するか確認する
- 音とぎれが発生するときはカーネルバッファ数を [3] に設定してください。

#### 初期設定状態で音とぎれが発生しているとき

- ① カーネルバッファ数を [4] に設定したあと、音とぎれが発生しない最小のバッファサイズに設定する

## ❖ ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

Windows の [ スタート ] メニュー > [ すべてのプログラム ] > [ Pioneer ] > [ DDJ\_WeGO ] > [ DDJ\_WeGO バージョン表示ユーティリティ ] をクリックする



- この画面では本機のファームウェアのバージョンも確認できます。
- 本機がコンピュータに接続されていないとき、または本機とコンピュータが正常に通信できていないときは、ファームウェアのバージョンは表示されません。

## ❖ ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記ホームページを参照してください。  
<http://pioneerdj.com/support/>

## VIRTUAL DJ LE ソフトウェアについて

VIRTUAL DJ LE は Atomix productions 社製の DJ ソフトウェアです。このソフトをインストールしたコンピュータと本機を接続して DJ プレイを楽しむことができます。

### 最低動作環境

対応 OS	CPU および必要メモリー
Mac OS X 10.5.x	Intel® プロセッサ 1 GB 以上の RAM
Windows® XP Home Edition/ Professional (SP3 以降)	Intel® Pentium® 4 または AMD Athlon™ XP プロセッサ 512 MB 以上の RAM
<b>その他</b>	
ハードディスク	50 MB 以上の空き容量
光学ドライブ	CD-ROM の読み込みが可能な光ディスクドライブ
USB ポート	コンピュータと本機を接続するために USB2.0 ポートが必要です。
ディスプレイ解像度	1 024 x 768 以上の解像度

### 推奨動作環境

対応 OS	CPU および必要メモリー
Mac OS X 10.6.x	Intel® プロセッサ 2 GB 以上の RAM
Windows® 7 Professional	Intel® Core™ 2 または AMD Athlon™ X2 プロセッサ 32 ビット版 1 GB 以上の RAM
<b>その他</b>	
ハードディスク	200 MB 以上の空き容量

## その他

ディスプレイ解像度	1 280 x 1 024 以上の解像度 (Windows)
	1 440 x 900 以上の解像度 (Mac)

ビデオミキシングを行う場合は、以下の条件も満たす必要があります。

- Mac
  - ATI™ または NVIDIA® ビデオチップセット、専用の 256 MB の DDR3 RAM ビデオメモリ
  - ビデオカードがデュアルモニター出力をサポートしている必要があります。
- Windows
  - ATI™ または NVIDIA® ビデオカード、専用の 256 MB の DDR3 RAM ビデオメモリ
  - ビデオカードがデュアルモニター出力をサポートしている必要があります。
- 上記の動作環境をみたしているすべてのコンピュータにおける動作を保証するものではありません。
- 上記の動作環境に記載されている必要メモリー容量を搭載していても、常駐プログラムやサービスの数によっては、メモリー不足でソフトウェアの機能・性能が発揮できないことがあります。このようなときは、十分な空きメモリーを確保してください。安定した動作をさせるにはメモリーの増設をお勧めします。
- コンピュータの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピュータをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで VIRTUAL DJ LE をお使いください。
- お客様がお使いになっている他のソフトウェアとの組み合わせによっては、VIRTUAL DJ LE の動作に不具合が発生することがあります。

## ❖ VIRTUAL DJ LE ソフトウェアをインストールする

- 付属ソフトウェアがインターネット接続を伴う場合の注意  
インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要になります。
- VIRTUAL DJ LE のバージョンにより、インストーラの画面デザインが変更になる場合がありますが、操作する手順に違いはありません。

### ❖ インストール手順について (Windows)

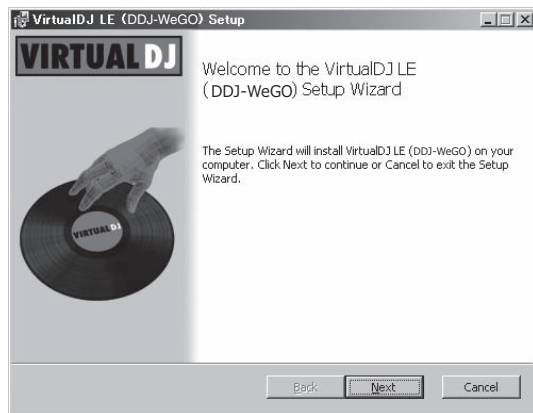
1 付属の CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入する

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[VIRTUAL DJ LE (DDJ-WeGO) をインストールする] を選んで [開始] をクリックする

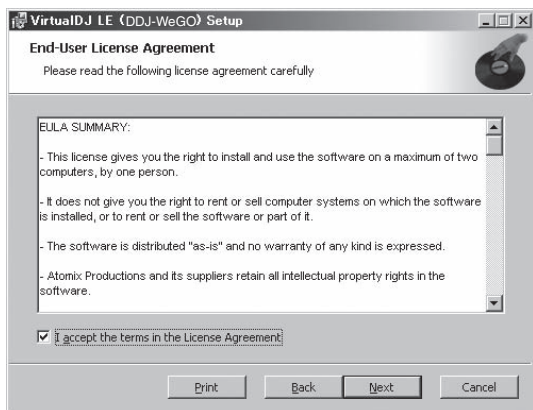
VIRTUAL DJ LE インストーラーが起動します。

3 VIRTUAL DJ LE インストーラーが起動したら [Next] をクリックする

- 前の画面へ戻るとき：[Back] をクリックします。
- インストールを中止するとき：[Cancel] をクリックします。

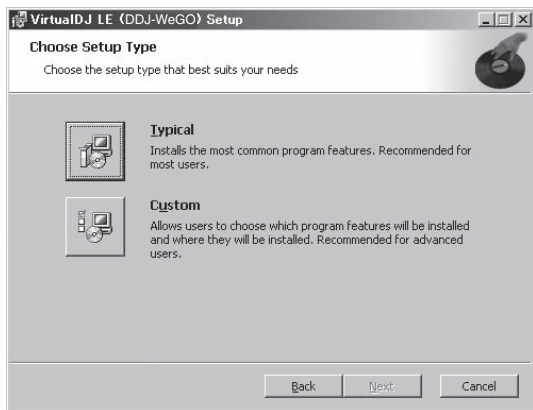


4 [End-User License Agreement] の内容をよく読み、同意するときは [I accept the terms in the License Agreement] にチェックを入れて [Next] をクリックする  
[End-User License Agreement] の内容に同意しないときは [Cancel] をクリックしてインストールを中止してください。

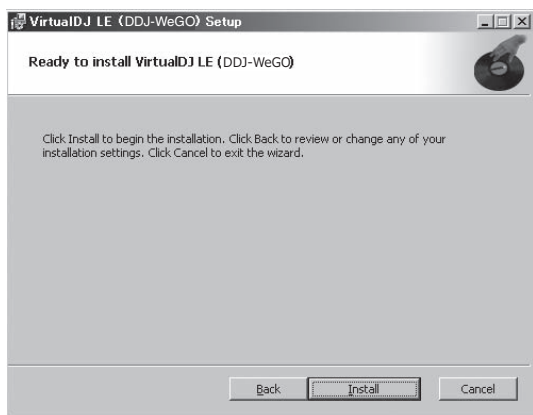


5 VIRTUAL DJ LE のインストールの種類を選んで [Next] をクリックする

- [Typical] を選ぶとプラグインなども同時にインストールされます。通常は [Typical] を選んでください。
- [Custom] を選ぶとインストールする内容を任意で選べます。



6 以下の画面が表示されたら [Install] をクリックする  
インストールが始まります。  
インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。



7 [Finish] をクリックする  
インストールが完了します。  
画面上の [Launch VirtualDJ] にチェックを入れたまま [Finish] をクリックすると、VIRTUAL DJ LE が起動します。



8 本機底面に印刷されているシリアル番号 (XXXX-XXXX-XXXXX/WEGO) を入力し [OK] をクリックする



#### ❖ インストール手順について (Mac OS X)

1 付属の CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入する  
画面上に [CD\_menu] のアイコンが表示されますのでダブルクリックします。

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[VIRTUAL DJ LE (DDJ-WeGO) をインストールする] を選んで [開始] をクリックする  
VIRTUAL DJ LE インストーラーが起動します。

3 VIRTUAL DJ LE インストーラーが起動したら [続ける] をクリックする

4 使用許諾契約の内容をよく読み、[続ける] をクリックし、同意する場合は [同意する] をクリックする  
使用許諾契約に同意しないときは [同意しない] をクリックしてください。

5 VIRTUAL DJ LE のインストールの種類を選んで [インストール] をクリックする

- 標準インストールを選ぶときは、[インストール] をクリックします
- 任意のインストール場所を選ぶときは、[インストール先を変更...] をクリックしてインストール場所を選んでください。

インストールが始まります。  
インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

6 [閉じる] をクリックする  
インストールが完了します。

#### ❖ VIRTUAL DJ LE ソフトウェアの最新情報を確認する

最新の動作環境、互換性、および最新の OS システムを取得するには、以下の Atomix productions 社のウェブサイト参照してください。また、最新の VIRTUAL DJ LE ソフトウェアを入手するには、Atomix productions 社のウェブサイトにてユーザーアカウント登録を必要があります。  
<http://www.virtualdj.com>

# 接続する

機器の接続や変更は、必ず電源を切ってから行ってください。

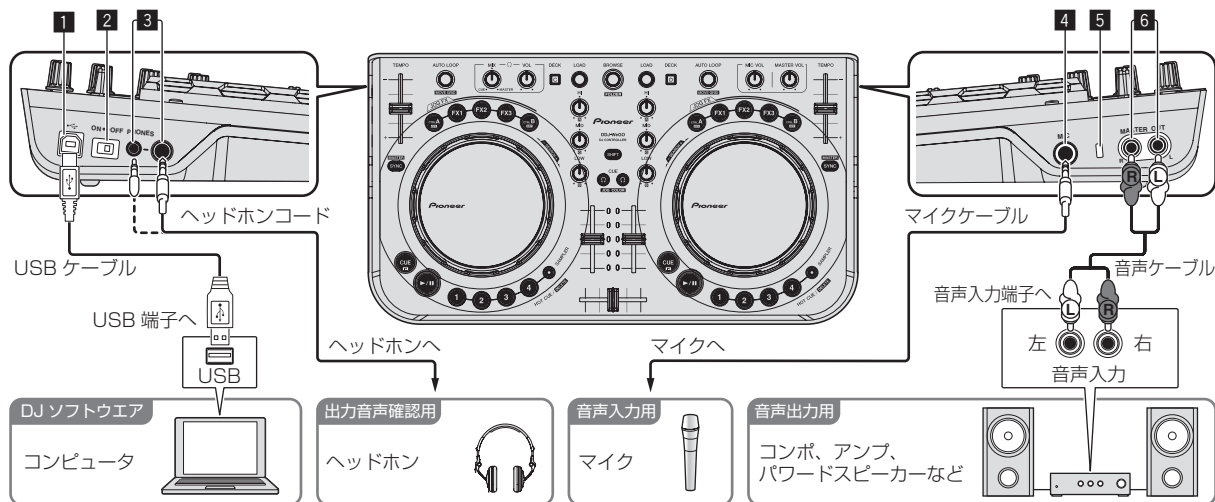
USB ケーブルは必ず本製品に付属のものをお使いください。

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機は USB バスパワーで電源が供給されます。USB ケーブルで本機とコンピュータを接続するだけで使用できます。

- コンピュータ本体の USB ポートの電源供給能力が不足している。
- コンピュータに他の USB 機器を接続している。
- インピーダンスが  $32 \Omega$  より小さいヘッドホンを接続している。
- ステレオフィオンジャックとステレオミニフオンジャックの両方にヘッドホンを同時に接続している。
- [PHONES] 端子にモノラルジャックを接続している。

## 入力 / 出力端子に接続する



### 1 USB 端子

コンピュータと接続します。

- 本機とコンピュータは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。

### 2 ON/OFF スイッチ

本機の電源をオン / オフします。

### 3 PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

ステレオフィオンプラグ (Ø 6.3 mm) とステレオミニフオンプラグ (Ø 3.5 mm) に対応しています。

- インピーダンスが  $32 \Omega$  以上のヘッドホンを接続してください。インピーダンスが  $32 \Omega$  より小さいヘッドホンには対応していません。
- ステレオフィオンジャックとステレオミニフオンジャックの両方にヘッドホンを同時に接続しないでください。

### 4 MIC 端子

マイクを接続します。

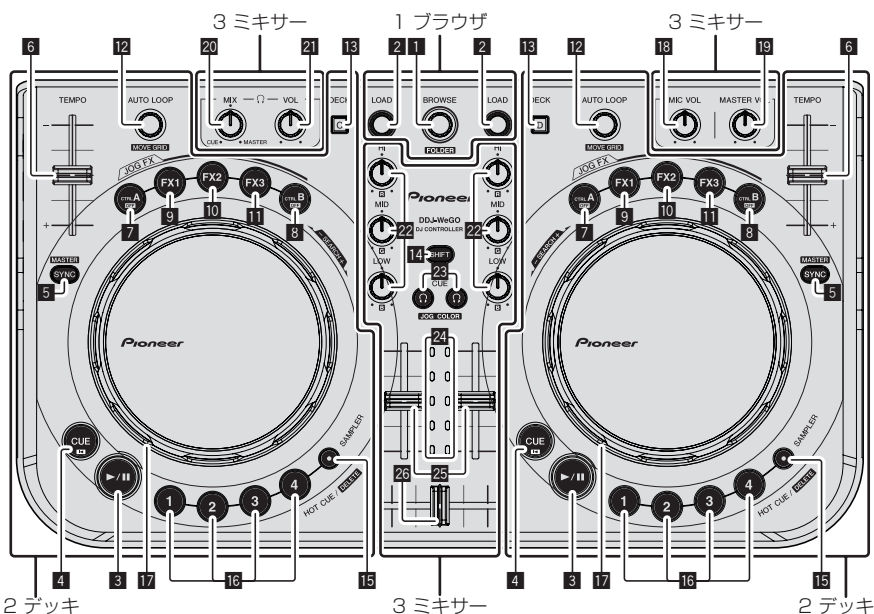
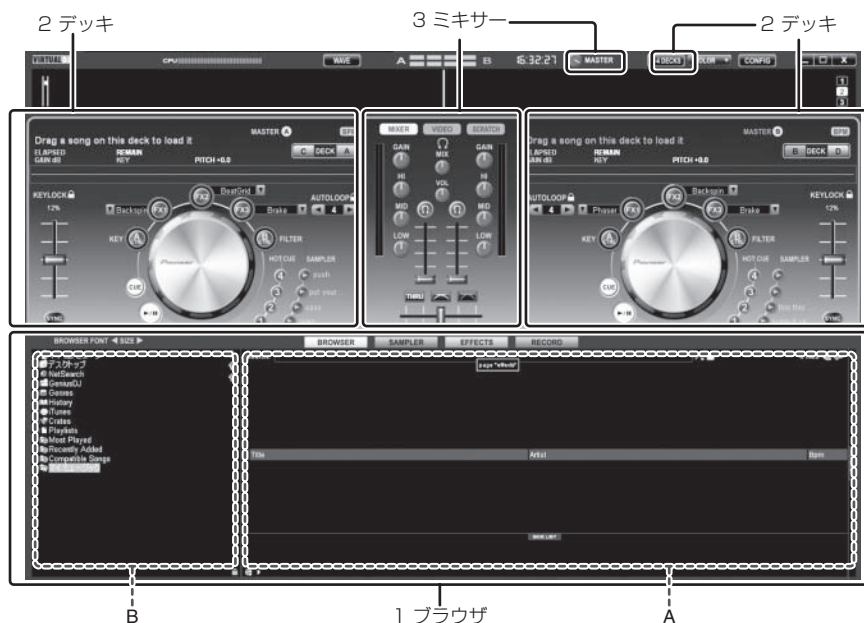
- マイク音声は、音量のみ調整できます。

### 5 ケンジントンロック装着用穴

### 6 MASTER OUT 端子

パワードスピーカーなどを接続します。

# 各部の名前とはたらき



## 1 ブラウザ

### 1 ロータリーセクター

- 回す：  
上図 A の部分でカーソルが移動します。
  - [SHIFT] + 回す：  
上図 B の部分でカーソルが移動します。
  - [SHIFT] + 押す：  
上図 B の部分でフォルダを開閉します。
- \* [BROWSE] パネル以外のパネルが表示されているとき、ロータリーセクターを回すと [BROWSE] パネルが表示されます。

### 2 LOAD ボタン

カーソルで選んでいるトラックを各デッキにロードします。



## 2 デッキ

### 3 ▶/|| ボタン

トラックを再生 / 一時停止します。

### 4 CUE ボタン

- 押す：  
キューポイントを設定します。またはキューポイントに移動します。
- [SHIFT] + 押す：  
再生位置がトラックの先頭に移動します。

### 5 SYNC (MASTER) ボタン

- 押す：  
マスターデッキのテンポに同期します。
- [SHIFT] + 押す：  
同期用マスターデッキに設定します。

### 6 TEMPO スライダー

再生速度を調整します。

### 7 CTRL A ボタン

- 押す：  
キーコントロールをオン / オフします。
- [SHIFT] + 押す：  
キーコントロール、フィルター、エフェクト 1 ~ 3 をまとめてオフします。

### 8 CTRL B ボタン

- 押す：  
フィルターをオン / オフします。
- [SHIFT] + 押す：  
キーコントロール、フィルター、エフェクト 1 ~ 3 をまとめてオフします。

### 9 FX1 ボタン

- 押す：  
エフェクト 1 をオン / オフします。
- [SHIFT] + 押す：  
エフェクト 1 の種類を切り換えます。

### 10 FX2 ボタン

- 押す：  
エフェクト 2 をオン / オフします。
- [SHIFT] + 押す：  
エフェクト 2 の種類を切り換えます。

### 11 FX3 ボタン

- 押す：  
エフェクト 3 をオン / オフします。
- [SHIFT] + 押す：  
エフェクト 3 の種類を切り換えます。

### 12 AUTO LOOP (MOVE GRID) ツマミ

- 回す：  
ループ再生の区間の幅を変更します。

- 押す：  
ループ再生をオン / オフします。
- [SHIFT] + 回す：  
ビートグリッドの位置を移動します。  
\* この機能は VIRTUAL DJ PRO へのアップグレードをする  
とお使いいただけます。
- [SHIFT] + 押す：  
マニュアルループのインポイント / アウトポイントを設定します。  
マニュアルループ再生をオン / オフします。

### 13 DECK ボタン

操作するデッキを切り換えます。

### 14 SHIFT ボタン

[SHIFT] ボタンを押しながら他のボタンを押すと別の機能呼び出せます。

### 15 SAMPLER ボタン

- 押す：  
サンプラーモードをオン / オフします。

### 16 HOT CUE (DELETE)/SAMPLER ボタン

- 押す：  
サンプラーモードがオフのときは、ホットキューポイントを設定します。またはホットキューを呼び出します。  
サンプラーモードがオン/オフのときは、サンプル音を再生 / 停止します。
- [SHIFT] + 押す：  
サンプラーモードがオフのときは、押したボタンに設定されているホットキューを削除します。  
サンプラーモードがオン/オフのときは、サンプル音を再生しているときサンプル音の先頭に戻って再生を続けます。

### 17 ジョグダイヤル

- ❖ JOG FX モードがオフのとき
  - スクラッチ  
ジョグダイヤル天面の金属部に触れながら回すと、回転方向と回転速度に応じて再生します。
  - ピッチベンド  
再生中にジョグダイヤルの外周部分を回すと、再生速度を調整できます。
  - マニュアルサーチ  
再生中に [SHIFT] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回すと、スクラッチよりも高速に再生位置を移動できます。
- ❖ JOG FX モードがオン/オフのとき
  - JOG FX コントロール  
ジョグダイヤルを回すと、エフェクトパラメーターを調整できます。  
詳しくは、12ページの「JOG FX モードの種類 (⇄E)」をご覧ください。

ジョグダイヤルの天面に物を載せたり、強い力を加えないでください。また、飲料水などの液体が製品内部に入ると故障の原因になります。

## 3 ミキサー

### 18 MIC VOL ツマミ

[MIC] 端子に入力される音声レベルを調整します。

### 19 MASTER VOL ツマミ

マスターから出力される音声レベルを調整します。  
\* コンピュータ画面上の [MASTER] ツマミとは連動しません。

### 20 HEADPHONES MIX ツマミ

[ ] ボタンが押してあるデッキの音声とマスター音声のモニター音量バランスを調整します。  
• サンプラーの音声は [HEADPHONES MIX] ツマミの位置に関係なく出力されます。

### 21 HEADPHONES VOL ツマミ

[PHONES] 端子から出力される音声レベルを調整します。  
• コンピュータ画面上の [VOL] ツマミ (ヘッドホン音量ツマミ) とは連動しません。  
• [MIC] 端子に接続したマイクの音声はヘッドホンからは出力されません。

### 22 EQ (HI, MID, LOW) ツマミ

各デッキの音質を調整します。  
[HI] (高音域)、[MID] (中音域)、[LOW] (低音域)

### 23 CUE (ヘッドホンキューボタン)

各デッキの音声をヘッドホンでモニターします。

### 24 チャンネルレベルインジケーター

各デッキのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。

### 25 チャンネルフェーダー

各デッキから出力される音声レベルを調整します。

### 26 クロスフェーダー

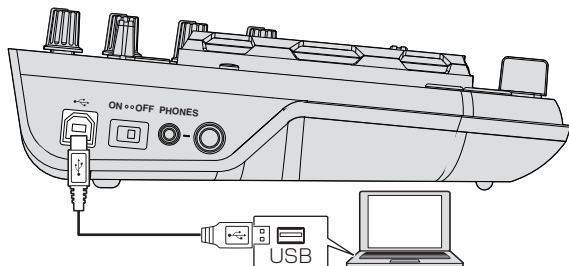
クロスフェーダーの左右にアサインされているデッキの音声を切り換えて出力します。

# 操作する (基本編)

## システムを起動する

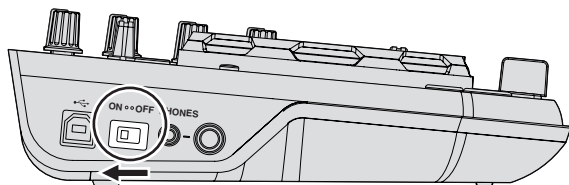
### 本機を起動する

#### 1 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する



#### 2 接続されたコンピュータを起動する

#### 3 本機の [ON/OFF] スイッチを [ON] の位置にスライドさせる



本機の電源をオンにします。

- 本機をはじめてコンピュータに接続したとき、またはコンピュータの USB 端子をつなぎ変えたときに [デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。] メッセージが表示されることがあります。[デバイスを使用する準備ができました。] メッセージが表示されるまでそのままお待ちください。

### VIRTUAL DJ LE を起動する

本機の起動時イルミネーションが終わってから VIRTUAL DJ LE を起動してください。

#### ❖ VIRTUAL DJ LE を起動する (Windows)

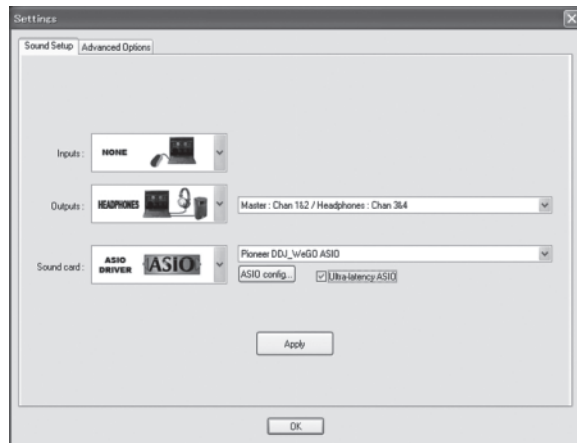
1 Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [VirtualDJ] > [VirtualDJ LE (DDJ-WeGO)] のアイコンをクリックする

2 コンピュータ画面の右上の [CONFIG] をクリックする

[Settings] 画面が表示されます。

[Sound Setup] タブの中の各項目を以下の順番で設定してください。

- ① [Inputs] : [NONE] を選ぶ
- ② [Sound card] : [ASIO DRIVER] および [Pioneer DDJ\_WeGO ASIO] を選ぶ
- ③ [Outputs] : [HEADPHONES] および [Master: Chan 1&2 / Headphones: Chan 3&4] を選ぶ



3 [Apply] をクリックしてから [OK] をクリックする

#### ❖ VIRTUAL DJ LE を起動する (Mac OS X)

1 Finder で [アプリケーション] フォルダを開いてから [VirtualDJ LE] のアイコンをダブルクリックする

VIRTUAL DJ LE を初めて起動したときにはシリアル番号入力画面が表示されます。

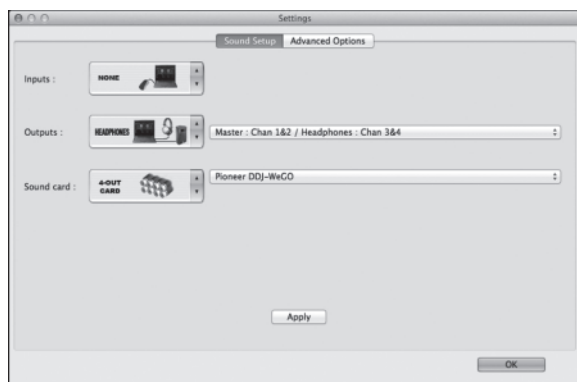
本機底面に印刷されているシリアル番号 (XXXX-XXXX-XXXXX / WEGO) を入力し [OK] をクリックする

2 コンピュータ画面の左上の [CONFIG] をクリックする

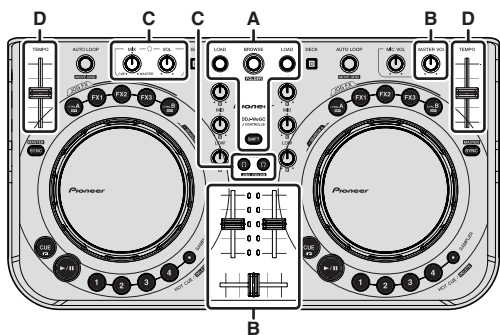
[Settings] 画面が表示されます。

[Sound Setup] タブの中の各項目を以下の順番で設定してください。

- ① [Inputs] : [NONE] を選ぶ
- ② [Sound card] : [4-OUT CARD] および [Pioneer DDJ-WeGO] を選ぶ
- ③ [Outputs] : [HEADPHONES] および [Master: Chan 1&2 / Headphones: Chan 3&4] を選ぶ



3 [Apply] をクリックしてから [OK] をクリックする



## トラックをロードして再生する (⇔A)

- 1 [SHIFT] ボタンを押しながらロータリーセレクターを回して、フォルダまたは項目を選ぶ
  - [+] マークが付いているフォルダまたは項目を選んでいるとき、[SHIFT] ボタンを押しながらロータリーセレクターを押すとフォルダまたは項目を展開 / 格納します。
- 2 [SHIFT] ボタンから手を放してからロータリーセレクターを回して、トラックを選ぶ
- 3 [LOAD] ボタンを押して、選んでいるトラックをデッキにロードする
- 4 [▶/II] ボタンを押してトラックを再生する
  - 再生中にもう一度ボタンを押すと一時停止します。

## ミキサー機能を使う (⇔B)

- [MASTER OUT] 端子に接続しているパワードスピーカーなどのボリュームを適切に設定してください。ボリュームを上げすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。
- 1 チャンネルフェーダーを操作して、各デッキから出力される音声レベルを調整する
  - 2 クロスフェーダーを操作して、スピーカーから音声を出すデッキを切り換える
    - 左端：[A] デッキまたは [C] デッキの音声を出力します。
    - センター位置：すべてのデッキの音声をミックスして出力します。
    - 右端：[B] デッキまたは [D] デッキの音声を出力します。
  - 3 [MASTER VOL] ツマミを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

## 音質を調整する

各デッキの [EQ (HI, MID, LOW)] ツマミを回す

## ヘッドホンで音声をモニターする (⇔C)

- 1 [PHONES] 端子にヘッドホンを接続する
- 2 モニターしたいデッキの [CUE] ボタンを押す

### 3 [HEADPHONES MIX] ツマミを回す

- 左に回す：[CUE] ボタンが押してあるデッキの音量が相対的に大きくなります。
- 右に回す：[MASTER OUT] の音量が相対的に大きくなります。

### 4 [HEADPHONES VOL] ツマミを回す

- [CUE] ボタンが押してあるデッキの音声ヘッドホンから出力されます。
- [CUE] ボタンを再び押すと、モニターが解除されます。

## ミックスする (⇔B, D)

- 1 [TEMPO] スライダーを操作して、一方のデッキの再生速度をもう一方のデッキに合わせる
  - + (手前) 側に動かす：再生速度が速くなります。
  - - (奥) 側に動かす：再生速度が遅くなります。
- 2 2つのデッキの拍がずれているときは、ジョグダイヤルのピッチベンド機能を使って拍のズレを修正する
 

再生中にジョグダイヤルの外周部分を回すと、再生速度を調整できます。

  - 時計回りに回す：再生速度が加速します。
  - 反時計回りに回す：再生速度が減速します。
  - 回転を止める：通常の再生速度に戻ります。
- 3 チャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを操作して、2つのデッキの音声をミックスしながら切り換える

## マイクの音声を入力する

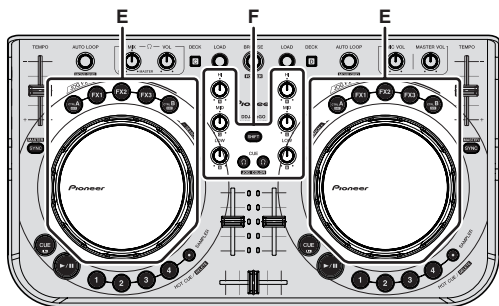
[MIC] 端子に接続したマイクの音声をミックスできます。

- 1 [MIC] 端子にマイクを接続する
- 2 [MIC] 端子に入力される音声レベルを調整する
  - [MIC VOL] ツマミを回す：[MIC] 端子の入力音声レベルを調整します。
  - マイク音声は、音量のみ調整できます。
  - マイクの音声はヘッドホンからは出力されません。

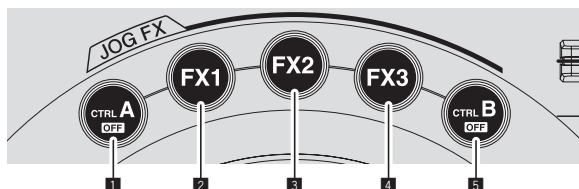
## システムを終了する

- 1 VIRTUAL DJ LE を終了する
- 2 本機の [ON/OFF] スイッチを [OFF] の位置にスライドさせる
- 3 USB ケーブルをコンピュータから抜く

# 操作する (本機の特徴)



## JOG FX モードの種類 (⇒E)



本機は 5 種類の JOG FX モードを備えています。  
JOG FX モードの種類は以下の通りです。

モード	モードの内容
1	キーコントロール [CTRL A] ボタンを押すことによりキーコントロールをオン/オフします。 オンのときにジョグダイヤルを回すことにより、キーを調整できます。
2	エフェクト 1 [FX1] ボタンを押すことにより、エフェクト 1 をオン/オフします。 オンのときにジョグダイヤルを回すことにより、エフェクト 1 のパラメータ 1 を調整できます。 また [SHIFT] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回すことにより、エフェクト 1 のパラメータ 2 を調整できます。
3	エフェクト 2 [FX2] ボタンを押すことにより、エフェクト 2 をオン/オフします。 オンのときにジョグダイヤルを回すことにより、エフェクト 2 のパラメータ 1 を調整できます。 また [SHIFT] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回すことにより、エフェクト 2 のパラメータ 2 を調整できます。
4	エフェクト 3 [FX3] ボタンを押すことにより、エフェクト 3 をオン/オフします。 オンのときにジョグダイヤルを回すことにより、エフェクト 3 のパラメータ 1 を調整できます。 また [SHIFT] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回すことにより、エフェクト 3 のパラメータ 2 を調整できます。
5	フィルター [CTRL B] ボタンを押すことにより、フィルターをオン/オフします。 オンのときにジョグダイヤルを回すことにより、フィルターを調整できます。

- [SHIFT] ボタンを押しながら、[CTRL A] ボタンまたは [CTRL B] ボタンを押すと全モードを解除します。
- [SHIFT] ボタンを押しながら [FX1] ボタン、[FX2] ボタン、または [FX3] ボタンを押すと、それぞれのエフェクトの種類を選ぶことができます。
- パラメーターの種類と数はエフェクトによって異なります。該当するパラメーターがないエフェクトの場合は、効果はありません。
- 使用できるエフェクトについては、弊社ホームページを参照してください。  
<http://pioneerdj.com/support/>

## ジョグダイヤルのイルミネーション色を変更する (⇒F)



本機は、ジョグダイヤルのイルミネーション色を変更する機能を備えています。

- 変更したイルミネーション色の設定は、本機の電源をオフしても保持されます。

## プリセットから選択する

[SHIFT] ボタンを押しながら [CUE] ボタンを押して、ジョグダイヤルのイルミネーション色を切り換える  
以下の順番でイルミネーション色が変わります。

イルミネーション色	イルミネーションモード
フロスティホワイト	Pulse Mode Active
レッド	
オレンジ	
イエロー	
グリーン	
エメラルドグリーン	
アクア	
ブルー	Pulse Mode Normal
バイオレット	
消灯	

- ジョグダイヤルのイルミネーション色は 4 デッキ独立して切り換えられます。
- 4 デッキのうちいずれかで「消灯」が選択された場合は、Pulse Mode Normal に切り換わります。
- Pulse Mode Active : Mix Pulse、FX Pulse が有効になります。
- Pulse Mode Normal : Mix Pulse、FX Pulse を無効にします。
  - Mix Pulse とは  
2 つのトラックのビートのずれを光の強弱で表示します。ビートが完全に一致するとジョグダイヤルの光が強くなり、ビートがずれるとジョグダイヤルの光が弱くなります。ビートのずれを目で確認しながら簡単にビートやテンポを合わせることができます。
  - FX Pulse とは  
操作したエフェクトによってジョグダイヤルの光がさまざまに動き、音の変化だけでなく光の動きでも DJ プレイを演出します。

## 自由に調整する

[SHIFT] ボタンを押しながら、[EQ (HI、MID、LOW)] ツマミを回して、ジョグダイヤルのイルミネーション色を切り換える

[EQ (HI、MID、LOW)] ツマミとイルミネーション色の対応は以下の通りです。

EQ (HI、MID、LOW) ツマミ	イルミネーション色
EQ [HI] ツマミ	レッド
EQ [MID] ツマミ	グリーン
EQ [LOW] ツマミ	ブルー

- 4 デッキのうちいずれかを消灯 (EQ (HI、MID、LOW) ツマミを3つとも最小) に設定すると、Pulse Mode Normal に切り換わります。

## スキンの色を変える

VIRTUAL DJ LE では、スキンの背景色を 10 色、およびジョグを 9 色の中から選べます。

### 1 [COLOR] ボタンを押す



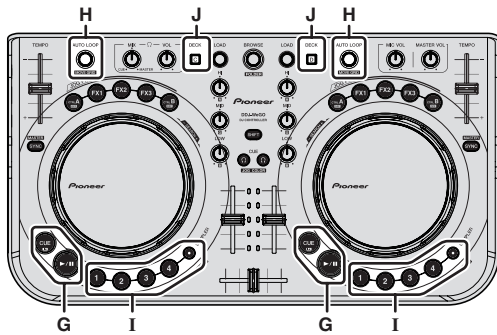
### 2 背景色を好みの色から選ぶ



### 3 ジョグを好みの色から選ぶ



# 操作する (応用編)



## CUE を使う (⇔G)

1 一時停止中に [CUE] ボタンを押して、一時停止している位置にキューポイントを設定する

- [1] から [4] のどのホットキューも未設定状態のときは、キューポイントが [1] のホットキューにも同時に設定されます。
- ホットキューがすでに設定されているときは、直前に操作したホットキューがキューポイントの位置に再設定されます。

2 再生中に [CUE] ボタンを押して、直前に操作したホットキューに戻り一時停止状態にする (バックキュー)



3 キューポイントに戻ったあと [CUE] ボタンを押し続けて再生を続ける (キューサンプラー)

## LOOP を使う (⇔H)

### マニュアルループ

1 再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら [AUTO LOOP] ツマミを押して、ループインポイントを設定する

2 ループインポイントが設定された状態で [SHIFT] ボタンを押しながら [AUTO LOOP] ツマミを押して、ループアウトポイントを設定しループ再生を始める

- ループ再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら [AUTO LOOP] ツマミを押すと、ループ再生が解除されます。
- コンピュータ画面の [  ] をオンにしてからマニュアルループを設定すると、ループ区間がオートループで設定可能な長さ (1/8 ~ 32) のいずれかになるように、ループアウトポイントが自動で調整されて設定されます。
- コンピュータ画面の [  ] をオフにしてからマニュアルループを設定すると、[AUTO LOOP] ウィンドウの拍数表示部に [ < \_ > ] が表示されます。そのあとオートループを使うときは、マニュアルループ再生を解除してから、[AUTO LOOP] ウィンドウに拍数表示が出るまで [AUTO LOOP] ツマミを右または左に回してください。

### オートループ



1 再生中に [AUTO LOOP] ツマミを回して、ループ再生の長さを拍数で設定する

2 [AUTO LOOP] ツマミを押して、ループ再生を始める

- ループ再生中に [AUTO LOOP] ツマミを回すと、ループの長さを変更できます。

## HOT CUE を使う (⇔I)

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。

- ホットキューは 1トラックにつき 4箇所まで設定および記憶できます。

1 再生中または一時停止中に [HOT CUE (DELETE)/SAMPLER] ボタンを押して、ホットキューを設定する

2 ホットキューが設定された [HOT CUE (DELETE)/SAMPLER] ボタンを押して、ホットキューを呼び出す

- [SHIFT] ボタンを押しながら [HOT CUE (DELETE)/SAMPLER] ボタンを押すと、設定されたホットキューを消去できます。
- [SAMPLER] ボタンが消灯しているときにホットキューの操作ができます。

## SAMPLER を使う (⇔I)

デッキの操作とは別に 8 個までのサンブラスロットの音声进行操作できます。

[HOT CUE (DELETE)/SAMPLER] ボタンを押して、サンブラスロットの再生を始める

本機の [SAMPLER] ボタンが点灯しているとき、サンブラスロットを操作することができます。

本機の [HOT CUE (DELETE)/SAMPLER] ボタンと VIRTUAL DJ LE のサンブラスロットは以下のように対応しています。

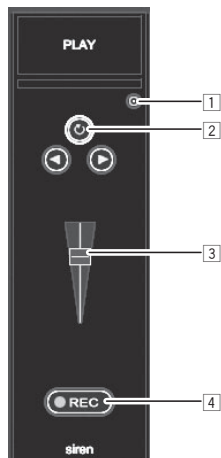
- 本体左側デッキの [HOT CUE (DELETE)/SAMPLER] ボタン: サンブラスロット 1 ~ 4
- 本体右側デッキの [HOT CUE (DELETE)/SAMPLER] ボタン: サンブラスロット 5 ~ 8
- サンプル音を再生しているときに [SHIFT] ボタンを押しながら [HOT CUE (DELETE)/SAMPLER] ボタンを押すと、サンプル音の先頭に戻って再生を続けます。

## SAMPLER の設定をする

コンピュータを操作して [SAMPLER] の音量などが調整できます。

1 コンピュータ画面の [ **SAMPLER** ] をクリックして [SAMPLER] 画面に切り換える

2 コンピュータ画面上で機能を操作する



- 1 [SAMPLER] のオプション画面を開きます。再生中の楽曲に同期して [SAMPLER] を再生するかなどを設定します。
- 2 [SAMPLER] の再生方法を 1 度だけ再生するか、繰り返し再生するかを切り換えます。
- 3 [SAMPLER] の音量を調整します。
- 4 [REC] ボタンを押すと録音を開始します。もう一度 [REC] ボタンを押すと録音を停止します。

## 4 つのデッキを操作する (⇒ J)



VIRTUAL DJ LE では、2 デッキレイアウトと 4 デッキレイアウトを選びます。

本機は 4 デッキレイアウトの操作に対応しています。

1 コンピュータ画面の [ **2-4 DECKS** ] ボタンをクリックしてデッキレイアウトを切り換える

2 [DECK] ボタンを押して操作したいデッキに切り換える  
デッキ C を選んだときは [DECK C] ボタンが、デッキ D を選んだときは [DECK D] ボタンがそれぞれ点灯します。

- 4 デッキレイアウトのとき、本機と連動するデッキを以下のよう  
に切り換えることができます。
  - [DECK C] ボタンを押す：本体左側のデッキと連動するデッキを切り換えます。(Deck A ⇄ Deck C)
  - [DECK D] ボタンを押す：本体右側のデッキと連動するデッキを切り換えます。(Deck B ⇄ Deck D)
- 4 デッキレイアウトのとき、コンピュータ画面のクロスフェーダー両脇のアサインボタンで、各デッキの出力をクロスフェーダーの左右どちらに割り当てるか選べます。
- デッキを切り換えたとき、コンピュータ画面と本機のツマミやフェーダーの位置が異なることがあります。このときは、本機のツマミやフェーダーをコンピュータ画面のツマミやフェーダーと同じ位置まで動かしてください。デッキを切り換えたときにこの操作が必要なツマミとフェーダーは以下です。
  - TEMPO スライダー
  - EQ (HI, MID, LOW) ツマミ
  - チャンネルフェーダー

# 操作する（その他の機能）

## ファイルを解析する



• この機能はコンピュータで操作します。本機では操作できません。  
VIRTUAL DJ LE でトラックを再生する前に、ファイルを解析することをお勧めします。  
ファイルを解析すると、トラックの BPM および音階（キー）を検出し、ビートグリッドを自動的に付与します。

### 1 ブラウザ画面で解析したいトラックを選んで右クリックする

トラックオプションメニューが表示されます。

### 2 メニューから [BPM] > [Re-Analyze] をクリックして解析を始める

複数のトラックまたはフォルダを選んでいるときは、右クリック後に表示されるメニューの [Scan for BPMs] をクリックします。

• 解析が終わると、トラック先頭のアイコンが  から  に変わります。

## ビートグリッドを編集する

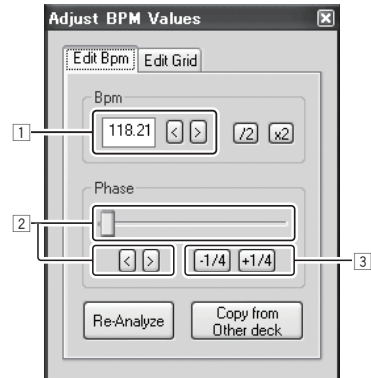
• この機能はコンピュータで操作します。本機では操作できません。

### 1 ビートグリッドを編集したいトラックをデッキにロードする

### 2 ブラウザ画面でロードしたトラックを選んで右クリックする

### 3 [BPM] > [Manual Edit] を選ぶ

[Adjust BPM Values] 画面が表示されます。



- 1 [BPM] の数字を直接入力する、または [ < ]、[ > ] ボタンを押してグリッド間隔を調整します。
- 2 スライダーを動かす、または [ < ]、[ > ] ボタンを押してグリッド位置を移動します。
- 3 [-1/4]、[+1/4] ボタンを押してグリッド位置を拍単位で移動します。



## ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔を調整する

本機はジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔を調整するモードを備えています。

本機から送信される、ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔が短い場合、お使いのコンピュータの OS やスペックによってはジョグダイヤルが正しく動作しないことがあります。そのような場合は以下の手順に従って MIDI メッセージの送信間隔を調整してください。











- ジョグダイヤルの MIDI メッセージ送信間隔調整モードで設定した値は、本機の電源をオフしても保持されます。

### 1 右デッキの [CTRL A] ボタンと [FX1] ボタンを押しながら、電源をオンにする

ジョグダイヤルの MIDI メッセージ送信間隔調整モードで起動します。起動時イルミネーションが終了するまでお待ちください。

### 2 [SHIFT] ボタンを押してジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔を選ぶ

[SHIFT] ボタンを押すたびに、送信間隔が 1 ms 単位で変わります。ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔をチャンネルレベルインジケータの LED 点灯で表示します。

MIDI メッセージの送信間隔	チャンネルレベルインジケータ
3 ms*	
4 ms	
5 ms	
6 ms	
7 ms	
8 ms	
9 ms	
10 ms	
11 ms	
12 ms	
13 ms	

\*：お買い上げ時の設定

- [PLAY/PAUSE] ボタンを押すとジョグダイヤルの MIDI メッセージ送信間隔調整モードを解除します。

## ジョグダイヤルのタッチセンサーの感度を調整する

本機はジョグダイヤルのタッチセンサーの感度を調整するモードを備えています。

- ジョグダイヤルの感度調整モードで設定した値は、本機の電源をオフしても保持されます。

### 1 左デッキの [CTRL A] ボタンと [FX1] ボタンを押しながら、電源をオンにする

ジョグダイヤルの感度調整モードで起動します。起動時イルミネーションが終了するまでお待ちください。

### 2 [SHIFT] ボタンを押してジョグダイヤルの感度を選ぶ

[SHIFT] ボタンを押すたびに感度が変わります。ジョグダイヤルの感度を [HOT CUE (DELETE)/SAMPLER] ボタンおよび [SAMPLER] ボタンの LED 点灯で表示します。

ジョグダイヤルの感度	点灯する LED
- 4 (低い)	左デッキの [HOT CUE1] ボタン
- 3	左デッキの [HOT CUE2] ボタン
- 2	左デッキの [HOT CUE3] ボタン
- 1	左デッキの [HOT CUE4] ボタン
0*	左右デッキの [SAMPLER] ボタン
+ 1	右デッキの [HOT CUE1] ボタン
+ 2	右デッキの [HOT CUE2] ボタン
+ 3	右デッキの [HOT CUE3] ボタン
+ 4 (高い)	右デッキの [HOT CUE4] ボタン

\*：お買い上げ時の設定

- [PLAY/PAUSE] ボタンを押すとジョグダイヤルの感度調整モードを解除します。

## ムードライティングモード

このモードを設定すると、左右デッキのジョグダイヤルのイルミネーションの明るさが自動でゆっくりと変化し続け、ムードライティングとして使うことができます。

- このモードは DJ アプリケーションを起動してなくても設定することができます。

### ムードライティングモードの起動方法

[SHIFT] ボタン、[DECK C] ボタン、および [DECK D] ボタンを同時に押す

- 10 分間無操作状態が続くと、自動でムードライティングモードに切り換わります。

### ムードライティングモードの解除方法

コントロールパネルのボタン、つまみ、スライダー、ジョグなどの中でどれか 1 つを操作する

# その他

## 故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、19ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフしてから1分後に再度電源をオンすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
本機が認識されない。	電源の [ON/OFF] スイッチは [ON] になっていますか？	電源の [ON/OFF] スイッチを [ON] にしてください。
	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。(7ページ)
	USB ハブを使っていませんか？	USB ハブは使えません。コンピュータと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。(7ページ)
	—	VIRTUAL DJ LE の [CONFIG] ボタンを押して [Sound Setup] タブの中にある [Sound card] 設定を確認してください。(10ページ) Windows : [ASIO DRIVER] および [Pioneer DDJ_WeGO ASIO] Mac OS X : [4-OUT CARD] および [Pioneer DDJ-WeGO]
本機と VIRTUAL DJ LE のツマミやスライダーの位置が異なる。	—	本機のツマミやスライダーを動かすと、VIRTUAL DJ LE のツマミやスライダーが同期します。
音楽ファイルを再生できない。	音楽ファイルが壊れていませんか？	壊れていない音楽ファイルを再生してください。
音が歪む。	[MIC] 端子に入力される音声レベルは適切に設定されていますか？	接続する機器に合わせて各端子に入力される音声レベルを適切に設定してください。
	[MASTER OUT] 端子をモノラルケーブルでアンバランス出力にしていますか？	アンバランス出力時は、出力を適切なレベルにしないと音が歪みます。[MASTER VOL] ツマミで出力を適切なレベルに設定してください。
DJ ソフトウェアを使っているとき再生中の音声がとぎれる。	本機と接続しているコンピュータが AC 電源に接続されていますか？	ノート型コンピュータをバッテリー駆動で使うと電源管理システムがバッテリー省エネモードになり、CPU のクロック周波数が下がることがあります。このとき、音声ノイズが発生したり、操作が遅くなったりすることがあります。本機を接続するコンピュータは、AC 電源に接続してください。
	ドライバソフトウェアのレイテンシーの値は適切ですか？	ドライバソフトウェアのレイテンシーの値を適切に設定してください。(4ページ)
音が出ない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	コンピュータと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。USB ハブは使えません。(7ページ)
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	ドライバソフトウェアは正しく設定されていますか？	ドライバソフトウェアを正しく設定してください。(4ページ)
	接続しているコンポやアンプは正しく設定されていますか？	コンポやアンプの外部入力の切り換えや音量を正しく設定してください。
	本機の音量が適切に設定されていますか？	チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよびマスターボリュームを適切に設定してください。(11ページ)
[SYNC] 機能が正しく働かない。	音楽ファイルが正しく解析されていますか？	音楽ファイルの解析結果が正しくないときは、ビートグリッドを手動で編集してください。(16ページ)
ASIO ドライバを設定すると音かとぎれる。	VIRTUAL DJ LE を起動したまま ASIO ドライバを設定していませんか？	ASIO ドライバは VIRTUAL DJ LE を起動する前に設定してください。(4ページ)
録音したサンプラー音声は保存できない。 サンプラー スロット 7 または サンプラー スロット 8 にサンプラー 音声を登録できない。	—	録音したサンプラー 音声の保存および呼び出し機能は、VIRTUAL DJ PRO へアップグレードするとお使いいただけます。
Windows XP をインストールしたコンピュータがフリーズする、または CPU 使用率が 100 % になる。	VIRTUAL DJ LE を起動したまま本機の電源をオフしたり、使用中に USB ケーブル抜いていますか？	必ず VIRTUAL DJ LE を終了してから本機の電源をオフしてください。また、使用中は USB ケーブルを抜かないでください。
VIRTUAL DJ LE を起動した後、本機を起動すると通信できない。ボタンおよびツマミの操作が連動しない、または LED が光らない。	本機と VIRTUAL DJ LE の起動順序を間違えていますか？	必ず本機を先に起動し、起動イルミネーションが終了してから、VIRTUAL DJ LE を起動してください。その後、VIRTUAL DJ LE の [CONFIG] ボタンを押して [Sound Setup] タブの中にある [Sound card] 設定を確認してください。(10ページ) Windows : [ASIO DRIVER] および [Pioneer DDJ_WeGO ASIO] Mac OS X : [4-OUT CARD] および [Pioneer DDJ-WeGO]
録音できない。	録音先のファイルパスに 2 バイトコード (日本語など) が含まれていますか？	録音先のファイルパスに 2 バイトコード (日本語など) が含まれないように設定してください。
VIRTUAL DJ LE を起動してもコンピュータ画面に何も表示されない。	お使いのコンピュータのディスプレイ解像度は 1 024 × 768 以上ですか？	タスクバーを右クリックしてタスクマネージャを起動してください。タスクマネージャの [アプリケーション] タブで [VirtualDJ] を右クリックして [最大化] を選んでください。

## 他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する

本機はボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピュータと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピュータで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。

他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用するときは、あらかじめ DJ ソフトウェアのオーディオおよび MIDI に関する設定も行ってください。

詳しくはお使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

## ドライバソフトウェアについて

### ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、お客様とパイオニア株式会社（以下「当社」といいます）との間における、DJ 機器用ソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）の使用に関する事項を定めるものです。

本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合は、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

#### （使用許諾）

本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル・コンピュータ又は携帯端末にインストールして使用することができます。

#### （制限事項）

お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等を行うことはできず、さらに、逆コンパイル、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

#### （著作権等）

本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

#### （保証及び技術サポートの否認）

本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

#### （責任制限）

当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害（利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・毀損など）による損害を含みますが、これらに限定されません）に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であっても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

#### （準拠法）

本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意（それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません）に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

## 保証とアフターサービス

### 修理に関するご質問、ご相談

別紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

### 保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 修理を依頼されるとき

本書の 18 ページの「故障かな?と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

### 連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DJ コントローラー
- 型番：DDJ-WeGO
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容  
「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

### 保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輛、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

K041\_A1\_Ja

### 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

---

---

## 商標および登録商標について

- Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows Vista®、Windows®、Internet Explorer® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS、Safari、iTunes、および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Intel、Intel Core、および Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- AMD Athlon は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- VirtualDJ は Atomix Productions の登録商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされており、営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは<http://www.mp3licensing.com>をご参照ください。

---

---

## 著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用する上でのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用する上でのすべての責任を負います。

— 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

©2012 パイオニア株式会社

禁無断転載

**パイオニア株式会社**

〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<DRJ1013-A>